

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	100%	0%	0%	法令を遵守したスペースを確保しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	33%	67%	0%	法令で必要とされる配置数を確保しています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0%	33%	67%	施設の構造上、バリアフリーに対応できていません。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	33%	67%	0%	随時業務改善を実施しています。全ての職員の意見は反映できていないため、翌年度は情報共有を強化します。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	50%	33%	17%	保護者の皆さまから頂いたご意見を、改善に反映させています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	17%	17%	67%	ホームページで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0%	50%	50%	第三者評価は実施していません。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	0%	33%	67%	研修情報を職員に公開しています。翌年度より研修計画を策定し内部研修の充実をはかります。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	33%	0%	年に2回のモニタリングと定期的なケース会議にて、計画を作成しています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	33%	50%	17%	標準化されたアセスメントシートを使用しています。必要に応じ関係機関からの情報収集を行っています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	67%	17%	17%	翌年度より活動の企画運営に関するミーティングを開催し、組織的に活動を計画します。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	67%	33%	0%	固定化しないように検討を行っています。翌年度より意図的に固定化し前回の課題が次回へ活かされるような活動計画も取り入れる予定としています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	83%	0%	17%	利用時間に合わせて活動を計画しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	67%	17%	17%	子どもの状況に合わせて活動を計画していますが、今後はレベルや発達段階に応じたグループ分けを行うなど、さらなる充実が必要と考えています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	50%	33%	17%	翌年度からは朝礼や各種ミーティングを行う中で、方針の確認や情報共有を行う予定としています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	33%	33%	33%	翌年度からは朝礼や各種ミーティングを行う中で、方針の確認や情報共有を行う予定としています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	83%	17%	0%	日々の支援内容を記録していますが、検証、改善に直結しているとは言えません。
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	100%	0%	0%	定期的なモニタリングを行った上で、ケース会議を開催し、職員の意見を反映させた個別支援計画を作成しています。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	17%	67%	17%	ガイドラインの周知は不十分です。翌年度は職員研修などでガイドラインの周知を行う予定としています。	

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	67%	33%	0%	全てのサービス担当者会議に対し、児童発達支援管理責任者が参加しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	67%	33%	0%	地域の学校とは送迎時や電話連絡にて、連携を図っています。翌年度は特別支援学校との連携強化に取り組みます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	17%	33%	50%	現状では医療的ケアが必要な児童を受け入れるための体制や基盤がありません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	33%	33%	33%	児童発達支援事業所等との縦連携についてはさらなる充実が必要です。部分的には保育園等と連携し情報収集する等を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	17%	83%	0%	卒業後に障害福祉サービスへ移行した実績はありませんが、情報提供できる準備があります。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	67%	17%	17%	専門機関からの助言や研修を受けた実績はありません。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	17%	33%	50%	外出先で場を共有する中で、結果として地域の子どものとの接点がありますが、意図的に交流を計画している状況はありません。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	17%	33%	50%	自立支援協議会には参加していません。翌年度は参加を計画しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	83%	17%	0%	送迎時に、保護者の方々との情報共有に努めています。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	17%	50%	ペアレントトレーニングは実施していません。	
保護者 への説明 責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	100%	0%	0%	契約時に分かりやすくお伝えできるよう努めています。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	67%	33%	0%	ご相談、ご意見には迅速にご対応できるよう努めています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	33%	17%	50%	保護者会や保護者同士が交流できる行事等は開催していません。今後計画します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%	苦情解決責任者及び第三者委員を設置し迅速確実に解決できるよう努めています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	50%	17%	33%	お知らせで活動予定を発信しています。会報は発行していません。翌年度は日々の活動の様子を視覚的に詳しく知っていただくことができるように計画しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	83%	17%	0%	個人情報の取り扱いに関する規定の整備などさらなる充実が必要と考えています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	67%	33%	0%	各家庭にとって分かりやすい伝え方を検討し、正しく伝わるように努めています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	50%	0%	50%	地域の方が来所される機会はほとんどありません。翌年度は地域との接点を作る計画を行っています。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	33%	50%	17%	個別の緊急時対応マニュアルは作成しています。翌年度はこれ以外のマニュアルの整備に取り組みます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	33%	0%	67%	非常災害時のマニュアル、訓練ともに未整備です。翌年度は計画の作成、避難訓練の実施を予定しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	33%	33%	33%	虐待防止研修は開催していません。翌年度は研修計画に位置付け開催する予定としています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50%	50%	0%	契約時に、身体的拘束廃止の取り組みについての同意書と共に、分かりやすくご説明しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	33%	0%	67%	現状では医師の指示書入手、連携は行っていません。しかしアレルギー対応が必要な児童が利用した場合、必要な対応を行います。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	50%	17%	33%	事故報告書を作成しています。翌年度からヒヤリハット報告を作成し事故の未然防止に努めることとしています。